

平成 29 年 12 月 20 日

緊急安全統括管理者会議の結果概要

JR 西日本の新幹線台車亀裂による重大インシデント、JR 東日本の京浜東北線の架線断線による輸送障害等の社会的影響の大きい事案が続けて発生していることを受け、改めて全国の鉄軌道事業者に事案の共有と同種事案の再発防止に努めるとともに安全・安定輸送の確保について徹底を指示するため、各鉄軌道事業の安全を統括する安全統括管理者を招集して「緊急安全統括管理者会議」を開催しました。

その概要を下記に示します。

1. 議事： (1) 局長訓示
(2) 安全・安定輸送に係る最近の動きに関する情報共有
(3) 意見交換

2. 概要：

(1) 局長訓示

- JR 西日本の新幹線台車亀裂による重大インシデントは、一步間違えたら人命に関わる重大な問題と認識。亀裂にまつわる予兆が確認されていたにも関わらず、名古屋まで走行したことなど数々の問題点が浮き彫りになった。このような問題を検証して必要な対策を講じる必要あり。JR 西日本だけでなく新幹線を運行する全ての会社の問題と認識。
- 大都市における輸送トラブルは、社会的な影響が甚大。
- 改めて鉄道の安全輸送、安定輸送に思いを致していただきたい。
- 作業ルールを順守しない、点検が不十分、コミュニケーション不足に起因するトラブルも存在。このような人的ミスについて、各社で徹底的に検証を進め再発防止につなげてほしい。
- 国土交通省としても、設備の老朽化・複雑化、現場要員の高齢化、若手技術者の不足等に起因した構造的な問題について有識者を交えた会議を立ち上げる予定。協力をお願いしたい。
- また、輸送障害発生時に、利用者へ適時・適切な情報提供、駅間停車した列車の乗客の速やかな救済等、その影響を最小化するよう改善すべき。

(2) 安全・安定輸送に係る最近の動きに関する情報共有

- 最近発生した 7 件の事故・輸送障害等の事案について、同種事案を防止するため、各鉄道事業者から報告。
- 鉄道局より、鉄道をめぐる環境の変化により、設備の老朽化、現場要員の高齢化、若手技術者の不足等に起因する構造的な問題の可能性について問題提起。

(3) 意見交換

- 直営の人間の技術的な能力に加えて、実際には協力会社の施工も多いので、協力会社の能力や要員の確保が大きな課題。
- 事故の未然防止や発生した場合の対応に関して、現場職員の知見が劣化しているのではないかと危機感を持っており、ベテランによる伝承教育等の取り組みをはじめたところ。

以上